

* 脳神経科学と心理療法の対話

平成29年 **12月1日(金)** 18:00~20:30

会場 神戸大学大学院人間発達環境学研究科
大会議室(鶴甲第2キャンパスA棟2階)



内容

脳科学や神経科学は発展がめざましく、他分野との接点や交流がますます広がっています。それは心理療法や臨床心理学の分野においても同様です。今回はお二人の若手研究者・心理療法家をお招きし、認知行動療法とニューロサイコセラピー、精神分析的な心理療法の観点から、脳神経科学の心理療法への応用の可能性や課題について議論してみたいと思います。脳や神経と聞くと取っ付きにくいと感じる方も多いのではないのでしょうか。脳神経科学の知見やニューロサイコセラピーについて、できる限りわかりやすくご紹介いただく予定です。心理士、大学院生、関連研究者、どなたでもご参加ください。

講演

「脳科学・神経科学の知見の心理療法への応用」

講師 **瀧澤 悠** 氏 (クイーンズランド大学)

心理士 (オーストラリア)。クイーンズランド大学博士後期課程在学。専門は認知行動療法、ニューロサイコセラピー。ブリストンのオフィスにて心理療法を担当。ニューロサイコセラピーの普及について研究に従事。

講演&コメント

「精神分析的な心理療法の立場から」

講師 **松本拓真** 氏 (岐阜大学教育学部)

岐阜大学教育学部助教。子どもの精神分析的な心理療法士。臨床心理士。博士 (人間科学・大阪大学)。NPO法人子どもの心理療法支援会理事。専門は精神分析的な心理療法。単著に「自閉スペクトラム症を抱える子どもたち：受身性研究と心理療法が拓く新たな理解」(金剛出版, 11月刊行予定)。